

Series clinic visit coverage

一般的には、当院での体外受精の妊娠率は30〜35%くらいです。

今でも患者さんには情報発信なり、説明はしているのですが、それがきちんとお一人おひとりに伝わっているか、理解してもらっているかどうか、さらに人間性を深めてきちんと向き合

不妊治療に携わっていると、時として患者さんの人生がガラリと変わる瞬間に立ち合うことがあります。

治療の流れ

- 1 初診・問診
2 自然周期
3 排卵誘発
ART or 治療方針相談



三軒茶屋ウィメンズクリニック 東京都世田谷区太子堂 1-12-34-2F

03-5779-7155 http://www.sangenjaya-wcl.com/

ゆったりとリラックスしたお気持ちで、安心して診察・治療が受けられますように、色彩・照明・インテリアに配慮しております。

体外受精をされる方は増えているのでしょうか？

2割ぐらいの方が体外受精です。一般不妊治療からステップアップされていく患者さんが多いですね。

こちらから一方的にステップアップを勧めるのではなく、ご本人に納得していただかないと、実際に治療に踏み切るのは難しいですからね。

■ 早めの治療ということへの理解も進んでいるのでしょうか？

不妊治療の話題は、いままでは体外受精や顕微授精など、技術的なことへ目が向くことが多かったと思います。

■ これからはどのようなことに力を入れていきたいと思っていますか？

今でも患者さんには情報発信なり、説明はしているのですが、それがきちんとお一人おひとりに伝わっているか、理解してもらっているかどうか、さらに人間性を深めてきちんと向き合

クリニックを訪ねて

開院3年目

ドクターは今...

診療スタッフが、院長のもとで力を合わせて患者夫婦のために診療していく。当り前の姿ですが、仕事におこることなく、明日の診療に向かっていることの大切さも、見えてくるのが、今の生殖医療なのかもしれない...

開院から二年!

人生が変わる瞬間に立ちあえる医療
とてもすばらしいと思っっています。



三軒茶屋ウィメンズクリニック 保坂 猛 医師 Dr. Hosaka Takeshi

ここ数年、有名クリニックからの勤務医の独立や新たに病院長として他院に抜擢されるケースが続いています。

切なドクターで整えられるという構図は続いて欲しいもの。今回、開院3年目を迎えた「三軒茶屋ウィメンズクリニック」を訪ねました。

■ 一般婦人科としても大きな役目を持つての開院でしたが、現在はいかがですか？
患者さんは、やはりこの地域、沿線(田園都市線)の方がほとんどです。

■ 開院当初と比べて変わったと感じることはどのような点ですか？
以前は結婚したけれど、ずっと子どもはつくらずに仕事を続けてきたという40歳前後の患者さんが多かったのですが、最近30代前半の方が、「私は歳なので早く子どもがほしい」と口にするなど、意識が変わってきているのを感じます。

東京都世田谷区 三軒茶屋ウィメンズクリニック



院内はクリアなシルバーやシックなブラウン、白で明るい雰囲気です

